



稲城市を代表するイベント「第24回Iのまち いなぎ市民まつり」に参加

自衛隊東京地方協力本部府中分駐所（所長 内田2陸尉）は10月25日及び26日、稲城市稲城中央公園で開催された「第24回Iのまち いなぎ市民まつり」において、募集広報活動を実施した。本イベントは、稲城市を代表するイベントで、ふれあいまつり部門をはじめ、フリーマーケット、農業品評会及び和太鼓演奏等の実施により、例年多くの来場者で賑わうものである。

府中分駐所は、展示ブースを設置し、ガラポン抽選会のほか、災害派遣活動のパネル展示により、自衛隊の活動を紹介した。展示ブースには親子連れや大学生、高校生等多くの方が訪れ、抽選会を楽しみつつ、自衛隊の活動パネルを真剣に見学している様子が伺えた。

来場者の方は、抽選会で引き当てた自衛隊グッズに笑顔を浮かべており、1等を見事引き当てた男の子に至っては、「母親が自衛隊のファンなので自慢したいです」と珍しい景品に喜々とした様子で話していた。

府中分駐所では、今後も各自治体、部隊等と連携しつつ、地域に密着した募集・広報活動を実施し、防衛省・自衛隊に対する理解と興味を獲得して将来の募集活動に繋げていく。



都立高等学校文化祭において装備品展示を実施

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 西尾3陸佐）は11月1日、板橋区に所在する都立高等学校の文化祭で装備品展示を実施した。

同校は、全国で初めて「都市防災技術科」を設置しており、1年生及び2年生約200名を対象に、防災に関する実技体験（探究防災）を実施している。

当日は、第1師団司令部付隊及び第1施設大隊本部管理中隊の支援を受け、学生、教職員、保護者、地域住民に対して、自衛隊が災害派遣時に使用する装備品（オートバイ、11/2t救急車、野外炊具1号、野外支援車（トイレカー））の展示を実施した。

また、広報ブースではVR体験により、来場者に自衛隊の活動を体感してもらうことで、文化祭の盛り上げにも貢献した。さらには、学生及び保護者に対して自衛隊の概要説明を行い、自衛隊に対する理解を深めていただくとともに、将来の進路選択のひとつとして認識してもらうことができた。

見学した学生や保護者からは「この装備品は、どのような場面で使用するのか、実際の災害派遣でも使用したのか」といった質問が寄せられ、関心の高さが伺えた。また、学校からは「来年度の文化祭でも引き続き装備品の展示をお願いしたい」との要望もいただいた。

北地域事務所は、今後も同校との連携を深め、学校教育支援や防災意識の向上を通じて、自衛隊に対する理解の深化を図っていく。

